

MV-22オスプレイの墜落に対する抗議決議

去る12月13日午後9時30分頃、米軍普天間基地所属のMV-22オスプレイが名護市安部の沿岸に墜落する事故が発生した。また同日、普天間飛行場においてMV-22オスプレイが胴体着陸した。

MV-22オスプレイについて、金武町議会は機体の安全性への懸念からこれまで配備撤回を求める意見書・抗議決議を提出してきたが、米軍は配備を強行、恐れていた事故が現実のものとなった。

MV-22オスプレイは、キャンプ・ハンセンを抱える本町において昼夜を問わず訓練しており、住民は爆音に悩まされてきた。また、最近ではMV-22オスプレイを含む米軍航空機による物資のつり下げ訓練が民間区域で実施されていた中での今回の事故は、町民が常に墜落の恐怖と隣り合わせの生活を強いられるものであり、断じて容認できない。

よって、金武町議会は町民の生命及び財産を守る立場から、米軍及び関係当局に対し断固抗議するとともに、下記事項について速やかに実現されるよう強く要請する。

以上、決議する。

記

1. MV-22オスプレイ墜落事故原因の徹底究明と公表すること。
1. MV-22オスプレイ沖縄配備を即時撤回すること。
1. 日米地位協定を抜本的に改定すること。

平成28年12月19日

沖縄県金武町議会



宛先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米国総領事
在日米軍沖縄地域調整官

可決

平成28年12月19日
金武町議会議長 嘉数 義光



MV-22オスプレイの墜落に対する意見書

去る12月13日午後9時30分頃、米軍普天間基地所属のMV-22オスプレイが名護市安部の沿岸に墜落する事故が発生した。また同日、普天間飛行場においてMV-22オスプレイが胴体着陸した。

MV-22オスプレイについて、金武町議会は機体の安全性への懸念からこれまで配備撤回を求める意見書・抗議決議を提出してきたが、米軍は配備を強行、恐れていた事故が現実のものとなった。

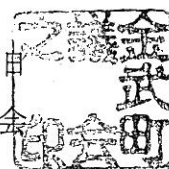
MV-22オスプレイは、キャンプ・ハンセンを抱える本町において昼夜を問わず訓練しており、住民は爆音に悩まされてきた。また、最近ではMV-22オスプレイを含む米軍航空機による物資のつり下げ訓練が民間区域で実施されていた中での今回の事故は、町民が常に墜落の恐怖と隣り合わせの生活を強いられるものであり、断じて容認できない。

よって、金武町議会は町民の生命及び財産を守る立場から、米軍及び関係当局に対し断固抗議するとともに、下記事項について速やかに実現されるよう強く要請し、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

記

1. MV-22オスプレイ墜落事故原因の徹底究明と公表すること。
1. MV-22オスプレイ沖縄配備を即時撤回すること。
1. 日米地位協定を抜本的に改定すること。

平成28年12月19日
沖縄県金武町議会



宛 先

内閣総理大臣 防衛大臣 外務大臣 沖縄及び北方対策担当大臣
外務省沖縄特命全権大使 沖縄防衛局長

可決

平成28年12月19日
金武町議会議長 嘉数 義光

